

# おでかけだより

春号 NO. 57  
2018年4月1日



発行：NPO法人『おでかけサービス杉並』 発行責任者：樋口 蓉子  
〒167-0051 杉並区荻窪5-18-11サニーシティ荻窪103  
TEL 03-6425-8584 FAX 03-5397-1755  
<http://www7b.biglobe.ne.jp/~npo-odekake/>

## 気持ちもあらたに、新年度スタートします



杉並区外出支援相談センター もび～る  
事務局長 秋山 糸織

「もび～る」は、杖や車いす等をお使いの方、介助が必要な方、外出手段にお困りの方のための「外出に関する相談窓口」です。杉並区の事業として2007年10月にスタートし、おでかけサービス杉並がその業務を担っています。契約の切り換えの時期となるため、今後3年間どんな事業をしていきたいか提案する機会をいただき、2018年4月から引き続き区民の皆様からのご相談をお受けできることになりました。

この10年をあらためて振り返ってみると、駅にエレベーターがあるのが当たり前になり、「だれでもトイレ」もあちこちにできました。そして、おでかけサービス杉並のような団体の車だけでなく、介護タクシーや、UD（ユニバーサルデザイン）タクシーなど、車いすの方や乗り込むのにお手伝いが必要な方たちにも使いやすい車がたくさん増えました。これから、東京オリンピック&パラリンピックに向けて変化が加速することでしょう。でも、これだけ増えてくると自分にあった外出手段を選ぶのもちょっと大変です。会員の皆さんの中には、「あなたの使っているおでかけサービス杉並って私も使えるの？って聞かれたけど、うまく説明ができなかったわ」「近所のお年寄りがかけるのに大変そうだけれど、何か良いものがあるのかしら。介護タクシーとかも、介護保険の認定を受けた人しか使えないんでしょう？」という方がいるかもしれません。そんなときには、ぜひ、もび～るをご紹介ください。移動サービスの車両の選び方、予約・支払い方法、付き添いや介助の選び方、外出時に利用できる各種制度などについて、お困りの内容に添ってわかりやすく説明いたします。資料として「おでかけガイド」（移動サービス・車編）（付き添い編）という冊子（A4版）もお届けできます。

新年度からは地域のサロンや高齢者住宅への出前講座も計画しています。地域の会合やお仲間の集まりでちょっと話を聞いてみようかなと思ったら、どうぞお気軽に御連絡ください。

（☎03-5347-3154）

2月24日運転協力員の方たちと今年度2度目の安全運転ミーティングを行いました。今回はワイワイ賑やかにいろんなことを話したいという事で、ワークショップ形式ですすめました。それぞれが付箋に日頃の思いや疑問に思っている事、不満などを書きだし、それを項目ごとに分類して皆で意見を出しながら共有しました。思わぬ本音が飛び出したり、そんなこと思っていたんだとか、普段見られないところが垣間見えたりしてなかなか楽しい会になりました。運行はそれぞれが孤立してしまいがちですが、顔を合わせ、意見を交えることで仲間意識が高まり、団体としても良い方向へ向かっていけると思います。

コーディネーター 野口 恭子

コーディネーター  
つうしん



## 雪の日の運行

理事・コーディネーター 野口 恭子

すっかり春めいて桜の便りも聞かれるようになりましたが、コーディネーターとしては毎年1月2月になると雪の予報に戦々恐々となります。前の晩から窓の外を眺めつつ、積もりそうとなれば皆さんに予定の変更をお願いしています。今年1月22日の雪は予想以上の降りで、運転協力員の方は前日からタイヤチェーンを装着して運行に備えてくださいました。私は早朝の通院の方のために、車を駐車場から自宅近くのコインパーキングに移動し翌日に備えたのですが、駐車場の除雪から始め大雪の中の走行、コインパーキングに入れるための除雪と大変な思いをしました。そして翌朝は、積もりに積もった雪の中から車を出しお迎えに。徐行運転での走行も幹線道路は良かったのですが、道幅の狭い住宅地に入るとスコップで除雪しながら少しずつ進むといった感じでした。それでも無事病院に到着した時は「ありがとう」の言葉をいただき苦労が報われた感がありました。雪の日や荒天の時には自分が気を付けて運転していても事故をもらってしまうことがありますので、安全を第一に考えなるべく不要不急な外出は予定を変更していただくようお願いしています。今回自ら体験し、車庫から道路へ車を出すことさえも大変だという事が良くわかりました。今回の雪では平常運行に戻るまでの3日間で半数以上のキャンセルがありましたが、安全のため予定を変更していただいた方々にお礼を申し上げます。



## このごろのこと

おでかけサービス杉並 鈴木 利矢子

私は荻窪の事務所で電話対応、運行のコーディネート、また事務処理に携わっています。毎日数件、多いときには数十件の運行があり、それぞれの運行が終了すると運転協力員さんが距離や時間、気づいたことなどを報告してくれます。私が利用者の皆さんとお会いすることは稀ですが、報告を通して運行の様子を伺っています。最近は病院や施設の送迎に加え、趣味や行楽の外出の利用も増えてきたようです。お体の調子の悪いときは少しでも楽に、また行楽等の外出は楽しんで利用していただけたらと思っています。先日、運転協力員さんとのミーティングがありました。運行の改善につなげるための日ごろの工夫や問題点などを聞く良い機会となりました。安全運転から呼び鈴のタイミングまで、留意していることは様々。また、協力員さんにとっても運行が生活の張り合いになっている等の嬉しい意見も聞くことができました。この仕事をするようになってから福祉有償運送の車がよく目に入ります。先日、家の近くで福祉有償運送の自家用車を見かけました。運行終了のときだったのででしょうか。運転協力員と利用者らしき二人がお辞儀をしていました。とても自然で素敵な風景でしたので嬉しくなりました。微力ですが、少しでも皆さんの生活のお役に立つことができればと思います。今後ともよろしく願いいたします。

